

科目名	観光社会学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科	□ 必修 ■ 選択	
英文表記	Sociology of Tourism	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	いのうえ ひろし	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	井上 寛	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	社会全体から「観光」の本質をとらえる				
到達目標	1. 観光社会学に関する理論のアウトライン、およびその体系を基礎レベルで理解できる 2. 観光社会学に関する研究成果を用いて、現代の様々な観光をめぐる事象を理解できる				
授業概要	観光社会学は、社会現象としての「観光」の本質を探究し、その成果を手掛かりに、社会の本質をも考察することができる学問です。今後の実践的学びや卒業後の職業生活において「新しいツーリズムを創造する」一助となる科目を目指します。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション-観光社会学を学ぶ意義				
第2回	社会学と観光-近代化と大衆消費社会				
第3回	観光社会学の対象-観光をめぐる3つの立場と相互の関係				
第4回	マスツーリズムの出現とその弊害				
第5回	新しい観光-持続可能な観光とスペシャルインタレストツーリズム				
第6回	観光のまなざし-「まなざし」から観光を考える				
第7回	観光経験-観光客とはいったい誰!?				
第8回	文化資本-観光の民主化				
第9回	オーセンティシティとシュミラークル-夢と魔法の王国から				
第10回	伝統の創造-秋田のまつりと観光フィールドワークから				
第11回	メディアと観光-インスタ映えとSNS				
第12回	まちづくりと着地型観光-アニメ聖地巡礼の鷺宮と増田の内蔵から				
第13回	家族と観光-家族の個人化				
第14回	障害者・高齢者の観光-ユニバーサルツーリズムは実現するのか				
第15回	まとめ-観光社会学から新しいツーリズムを創造する				
第16回	定期試験				

授業時間外の学習	<p><予習> 授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、参考文献やWEBサイトなどを活用し予習をしてください。(90分程度)</p> <p><復習> ノートを確認し、参考文献やWEBサイトなどを活用し復習をしてください。(90分程度)</p> <p><その他> 観光に関するニュースや社会での出来事に関心を持ち、社会(科)学的な視点から考えるトレーニングを日頃から心がけてください。(30分程度)</p>
履修条件 受講のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光論入門」(国際学科の必修科目)を受講したうえで受講することをお勧めします。 ・総合科目群の「社会学」を受講すると相乗効果があります。 ・なお、毎時間参考資料はポータルサイトで配布しますので、各自ダウンロードのうえ持参してください。
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)
参考文献・資料	<ul style="list-style-type: none"> ・安村・堀野・遠藤・寺岡編『よくわかる観光社会学』ミネルヴァ書房、2011年 ・須藤廣・遠藤秀樹『観光社会学2.0—拡がりゆくツーリズム研究』福村出版、2018年
成績評価の方法	<p>①定期試験(50%)…知識を問う問題と論述問題を課します</p> <p>②レポート課題(20%)…ポータルサイトに課題を提示しますので指示した方法で提出してください。正当な理由なく提出期限を守らなかった場合は加点しません。</p> <p>③小レポート(15%)…出席カードの裏面またはポータルサイトにて提出を課します。なお、課題に対して満足に解答する姿勢が見られない場合は、加点しない場合があります。</p> <p>④取り組み姿勢(15%)…遅刻、マナー違反(私語・携帯操作・途中無断退席など)は加点しないほか、悪質な場合は欠席扱いとします。</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<p>毎週月曜日 1 時限(9:00~10:30)</p> <p>毎週木曜日 2 時限(10:40~12:10)</p>
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>観光社会学は、秋田で観光を学ぶ上で必要な理論や考え方である「伝統文化」や「観光まちづくり」、「着地型観光」など、具体的な事例を用いて楽しく学んでいきます。興味をもったテーマをさらに掘り下げていけば、新しいツーリズムを創造するヒントになりますし、観光のこののみならずもっと大きな社会全体が見えてきます。</p>